

本県教育を取り巻く社会経済状況(主なもの)

- 人口減少の加速化 ○気候変動と自然災害
○グローバル化の進展と国際環境の複雑化
○VUCAの時代(変動性、不確実性、複雑性、曖昧性)
○共生社会・社会的包摂 ○Society5.0の到来

第6次山形県教育振興計画期間の現状(主なもの)

- 探究型学習の拡大・浸透 ○併設型中高一貫教育校の設立
○自分には良いところがあると思う児童生徒の割合が高い
○運動時間数の減少 ○不登校児童生徒の増加
○教員志願倍率の低下 ○授業でのICT利用頻度が低い

今後を見据えた課題(主なもの)

- 予測困難な時代を生き抜くための変化に対応できる力の育成
○多様な個人を尊重し、包摂社会に寄与する態度・姿勢の育成
○DXや少子化、地域との連携等、様々な変化に対応した学びの環境整備

【目標】 ウェルビーイング※を目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり

※ 身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず将来にわたる持続的な幸福を含むとともに、個人だけでなく、地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念。

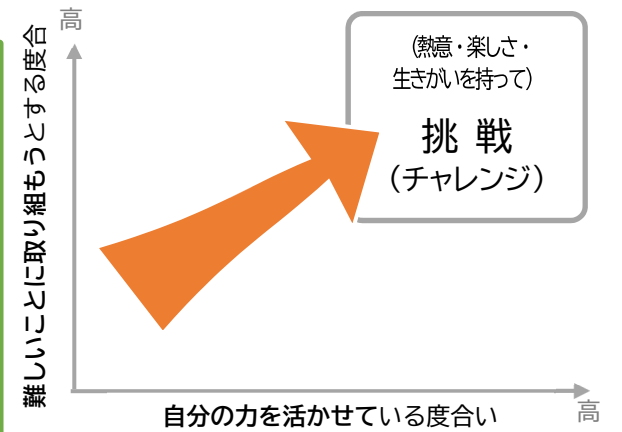
<目指す社会>

- ◎異なる立場や考え、価値観を持った人々が豊かに生き活きと暮らす中で、
●子どもは、学校の中だけでなく、社会の中で交流し、ワクワク感(意欲、興味、関心)を持って自ら選択し学び合っている
●大人・家庭は、互いを尊重する姿を見せ、子どもの試行錯誤を見守り、挑戦できる環境をつくっている
●地域等は、子ども一人ひとりの違いや個性を認め、それぞれに応じた多様な学びの場や安全・安心な環境を提供している

<ウェルビーイングを目指すためには>

・個人の幸せだけでなく、社会が幸せを感じられるよう、県民皆が自分の力を活かしながら、前向きに取り組んでいることが重要

→「挑戦」していることが重要



【県民の皆様へ(メッセージ)】

○本計画は、教育行政の取り組みを中心にまとめたものだが、県民一人ひとりが自分事としてとらえ、学校・家庭・地域が当事者としてそれぞれの役割を果たしながら一緒に取り組むことが大切。 ウェルビーイングを目指して、県民みんなでチャレンジ!

●子どもたちへ

- ・地域や社会で色々な人と交流する
・学ぶ楽しさや意味を知る
・失敗を恐れず、様々なことをやってみる
・自分を大切にするとともに、他者を尊重する など

●保護者、家庭の皆様へ

- ・家庭は子どもの学びや社会性を育む原点となる
・子どもが自分で育つ力を信じ、遠くから見守りながら困った時は手を差し伸べる
・家庭は子どもが安らげる場所となる など

●地域、企業・NPOの皆様へ

- ・画一的な学びから個別最適な学びへの変化を認識する
・学びの場は学校以外に広がり、地域や企業、社会全体が主体的に参画し提案する
・子どもの健康や成長を見守る など

県民みんなでチャレンジ!

チャレンジ1 体験

ワクワク無限大

チャレンジ2 探究

「なんで？」を大切に

チャレンジ3 尊重

みんなが主役で応援団

チャレンジ4 協働

みんな笑顔で

取り組みのイメージ

※内容は今後検討していくもの

※()内は、チャレンジに関連する、方針以下の想定取組例を参考として例示。

●子どもたち 学校内外で大人や企業等と積極的に関わり、農作業や芸術、起業や商品開発など様々な体験にワクワク挑戦!

●家庭 子どもたちを様々な体験に送り出す ●地域の大人 仕事や作業を任せる等、子どもたちへリアルな体験の機会を提供する(関連取組例;体験学習の充実[アクション3]、アソビ・レジャー教育の展開[アクション2]、職業実践力の育成[アクション1])

●子どもたち 様々なことに「なんで？」と興味関心を持って自分で調べたりして探究し、自由な発想で新しいことに踏み出す!

●家庭 子どもの自由な発想を後押しし、試行錯誤を見守り、支える ●地域の大人 機材や人材の提供等、子どもの探究の機会や場を支える(関連取組例;探究学習の拡大[アクション1]、STEAM教育の充実[アクション2]、企業・大学等との連携・協働[アクション8])

●子どもたち 自分を大切にするとともに、互いの個性を尊重してコミュニケーションし、一人ひとりの良いところを見つける!

●家庭 親子で対話し、子どもの生活習慣を整え、社会性を育む ●地域の大人 子どもの模範となりながら心身の成長を支える(関連取組例;家庭教育支援の充実[アクション8]、主権者教育の推進、健康や食に関する教育の推進[アクション3])

●子どもたち 地域イベントやボランティアなどで協働し、学びを実際に活かしながら、楽しく地域社会を創っていく!

●家庭や地域の大人 地域活動に子どもたちの意見を取入れるなど、生き活き安心して協働できる環境をつくる(関連取組例;感性や郷土愛の育成[アクション3]、コミュニティカールの推進[アクション8]、教職員の働き方改革[アクション7])

DXはみんなの友達 [アクション6]

【子どもも大人も】 デジタルのメリットを最大限に活かしてチャレンジ

・生成AIの活用



例:課題研究での生成AIの活用(酒田光陵高校)

・メタバースの活用



例:生徒が制作したメタバースによる『鶴工バーチャル体験入学』(鶴岡工業高校)

方針Ⅰ 一人ひとりが自分らしく可能性にチャレンジする学びや態度を育成する

アクション1 自ら考え、主体的に行動する力を育む

() 内は想定取組例

● 様々な体験を通し自分の興味関心を見つけ、行動する経験を積み重ねることで、主体的に学び続ける

① 確かな学力の育成

(・探究学習の拡大 ・少人数学級編制の展開 ・異学年共同学習の展開 ・**幼児教育の推進** 等)

② **キャリア教育の充実**

(・**職業実践力の育成** 等)

アクション2 新たな価値を創造する力を育む

● 時代の変化を敏感に捉え、自由な発想で果敢に挑戦し、失敗しても諦めずに創意工夫する

③ グローバル社会における人材育成

(・外国語教育の充実 ・海外体験学習の実施 ・ICTを活用した海外との交流 ・**多文化共生に関する学習の展開** 等)

④ イノベーションを担う人材育成

(・STEAM教育の充実 ・アントレプレナーシップ教育の展開 等)

アクション3 互いを尊重し前向きに生きる心と体を育む

● 豊かな心健やかな体を育み、互いを尊重し、社会の一員として自分の意志を持ち前向きに行動する

⑤ 豊かな心の育成

(・体験学習の充実 ・感性や郷土愛の育成 等)

⑥ 健やかな体の育成

(・**健康や食に関する教育の推進** ・体力、運動能力の向上 等)

⑦ 主体的に社会の形成に参画する態度の育成・規範意識の醸成

(・主権者教育の推進 等)

方針Ⅱ 誰一人取り残されず、誰もが続けられる学びの機会を充実する

アクション4 それぞれの個性を活かし尊重した学びを実現する

● 一人ひとりが違うことを前提に、**多様な他者との交流による学び合いを進め**それぞれの可能性を引き出していく

⑧ 特別支援教育の推進

(・通級指導や特別支援学級の充実 ・就労支援の充実 ・医療的ケア児の支援 等)

⑨ **様々な事情を持つ子どもへの対応**

(・不登校児童生徒への対応 ・家庭の事情等により学業に影響が生じている子どもへの対応

・**外国人児童生徒への対応** 等)

アクション5 生涯にわたり学びやスポーツ・芸術文化活動を楽しむ

● 人生100年時代を見据え、学校だけでなく地域や企業、社会全体で、大人も子どもも多様な人と一緒に生涯学び、それを社会の中で生かす学びのサイクルを実現する

⑩ 生涯学び、活躍できる環境整備

(・働きながら学べる環境整備 ・文化芸術の鑑賞・**体験**機会の充実 等)

⑪ 地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進

(・社会教育機関の活性化 ・社会教育人材の養成 等)

⑫ スポーツを通じた豊かな心身の育成

(・総合型地域スポーツクラブの充実 ・アスリートの発掘・育成 等)

県内の特徴的な取組事例



【探究ヘルプデスク】
・大学生による、高校生の探究活動のサポートの取組み
(東北芸術工科大学)



【朝日中スキマクラス2.5組】
・民間企業による、公立中学校内のオフィス設置と生徒との交流、先生の授業支援
(地域振興サポート会社まよひが企画)

方針Ⅲ 社会の変化に対応した学びの環境を整える

アクション6 教育DXを実現する

● ICTの活用が日常化し、学ぶ場所を自由に選び、教育データを活用して、リアルな体験と組み合わせた一人ひとりにあった充実した学びを実現する

⑬ 教育DXの推進・デジタル人材の育成

(・**生成AIの活用** ・遠隔授業の拡大 ・教育データの分析・活用 ・児童生徒のICT活用力の育成 等)

⑭ ICT環境の整備

(・ICT設備の充実 等)

アクション7 活力あふれる学校を実現する

● 家庭や地域と役割分担しながら、外部人材の活用などにより、先生が余裕と余白を持つとともに、子どもが前向きに挑戦できる環境をつくる

⑮ 指導体制の強化

(・教職員の働き方改革 ・教員の**養成**・確保 ・研修の充実 等)

⑯ 教育環境の整備

(・高校再編 ・学校施設の整備 等)

⑰ 児童生徒等の安全確保

(・学校安全の推進 等)

アクション8 家庭や地域と一体となって子どもの学びを支える

● 子どもも大人も、学校の中でも外でも、自分の学びたいように学べる場や学べる選択肢を社会全体で協働し支えていく

⑱ 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上

(・コミュニティスクールの推進 ・家庭教育**支援**の充実 ・県立高校と地域が協働した取組みの推進 等)

⑲ NPO・企業・**大学**・地域団体等との連携・協働

<補足 (Appendix) > (仮)

○ ウェルビーイングについて ○ 持続可能な社会の展望について ○ 県内の取組事例について 等